



2022年8月 第739号

教会だより

カトリック甲府教会 月報

〒400-0032 山梨県甲府市中央2-7-10

Tel / Fax 055-237-2531 <http://catholic-kofu.com>

編集・発行 カトリック甲府教会 広報委員会

カトリック甲府・塩山教会 主任司祭 芹沢 博仁神父様にインタビューいたしました。

Q・初めに甲府教会の感想をお願いいたします。

A・ミサに来た人との立ち話とかがないのが寂しいですね。聖堂の位置とかミサ後の予定とかに理由があるのかもしれませんが。

Q・甲府教会でどのように司牧したいとお考えでしょうか？

A・変わりたいということがあれば協力します。今までこうだったとか、前回はこうしたということで不自由なことがあるのかもしれませんが。他にもやり方があるのではと考えていきたいですね。



Q・甲府教会に望むことは？

A・甲府教会に限ったことではないのですが、先の教会のことを頭に置いた活動を望んでいます。世代交代のことであり、青少年への宣教司牧ですね。特にこの3年の間、集うということをせずに青少年の教会離れ(教会の青少年離れとも言われます)を促してしまった小教区がいくつもあります。

Q・神父様の霊名を教えてください。

A・クレメンスです。なぜこの洗礼名になったのかは知りません。幼児洗礼の時の代父がつけたいらしいのですが、親も知りませんでした。神学校に入ってから、どのような聖人なのかと調べました。クレメンス一世という第四代の教皇で殉教者です。

Q・ご出身はどこですか？

A・生まれは鎌倉です。かつての本籍地がそうになっていました。育ちは横浜です。横浜といっても西の端にある瀬谷というところです。

Q・ご家族のことを教えてください。

A・両親はそれぞれ若い時に洗礼を受けました。兄弟は弟と妹です。3人とも幼児洗礼です。父は90年に他界しました。62歳でした。いつの間にか、わたしは父よりも長く生きています。しかし90歳を過ぎている母を超えることはないでしょう。

(来月号につづく)



おしらせ



1 敬老の集い中止

9月18日(日)を予定していた敬老の集いですが、コロナ禍の収束が見通せないため、今年の開催は、昨年度に引き続き中止いたします。75歳以上の信徒様には、昨年同様プレゼントを贈呈いたします。9月18日、9月25日のミサ後に記念写真を撮影しプレゼントをお渡しする予定です。

2 地域福祉委員会より

新型コロナウイルス感染症拡大のため、8月6日(土)開催予定でした映画「長崎の鐘」上映会を延期いたします。(開催日は未定です。)

3 典礼委員会より

7月から「新しいミサ式次第」の勉強会が始まりました。8月以降は、各ブロック月1回行いたいと思います。7月 3・4週目 8月 1・2週目 9月 3・4週目 10月 1・2週目 11月につきましては、4週目が待降節第一主日で、新しいミサ式次第になりますので1・2・3週目を予定しています。よろしく願いいたします

4 きずなの会 休み

5 典礼委員会 8月20日(土) 9:00 ~ センターホール

6 地域福祉委員会 休み

7 青少年育成委員会 休み

8 広報委員会 8月28日(日) 13:00 ~ センターホール

.....
 ~教会維持費および墓地・納骨堂管理費の納入について~

教会維持費および墓地・納骨堂の管理費は、下記の口座へお振込いただけます。

月定献金振込先(教会維持費)

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 188674

墓地・納骨堂管理費振込先(毎年1月~5月中に)

山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 1402890

受取人(宗)カトリック横浜司教区甲府カトリック教会

関係団体などからのお知らせ

1. NPO法人こどもサポートやまなし

①理事会・運営委員会

休み

②学習会

7月14日(日)、7月28日(日)の13時30分より
山梨カトリック福祉センターで行います。

2. NPO法人やまなしライフサポート

夜間特別見守りパトロール

- 日時 8月20日(土) 22:00~23:30
- 集合 カトリックセンター 21:50
- 内容 甲府駅周辺や公園などをパトロールし、昼間では出会えない路上生活者を探し支援を行います。
- 申込 NPO[法人やまなしライフサポート 芦沢(080-5501-8191)]



教皇フランシスコ、2022年7月10日「お告げの祈り」でのことば

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、こんにちは。

今日の典礼の福音箇所は、善いサマリア人のたとえ（ルカ 10・25—37 参照）を詳しく語っています——わたしたちもよく知っているたとえです。背景として、エルサレムからエリコへ下って行く途中の道で、追いはぎに襲われ、殴りつけられ、身ぐるみを剥がされた人が横たわっています。通りかかった祭司が、その人を見ますが、止まらずに行ってしまう。神殿での奉仕を行うレビ人も、同様に振る舞いました。福音書には、「ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い」（33 節）と書かれています。この「憐れに思い」ということばを忘れないでいましょう。なぜなら、これこそわたしたちが問題にぶつかったとき、罪を犯したとき、惨めさを経験したときに、いつも神が感じておられることだからです。「憐れに思われる」のです。福音記者ルカは、あえてこのサマリア人が旅の途中であったことを明記しています。ですから、サマリア人は自分自身の計画があり、どこか遠い所へ向かう途中だったにもかかわらず、言い訳をせずに、途中で起きたことに自らを関わらせたのです。こう考えてみましょう。主がわたしたちに同じことをするように教えているのではないか？わたしたちの最終目的地である遠くを見つめ、一方で、その目的地にたどり着くために、今、この場を歩むことに最新の注意を払いましょう。



最初のキリスト信者たちが、「この道に従う弟子」（使徒言行録 9・2 参照）と呼ばれたのは意義深いことです。実際、信者はこのサマリア人にとってもよく似ています——サマリア人のように、信者たちも旅に出て、歩いて旅に出ているのです。信者たちはまだ到着していないことを知っています。そして、日々学びたいと望み、「わたしは道であり、真理であり、命である」（ヨハネ 14・6）と言われた主イエスに従うのです。「わたしは道であ（る）」。キリストの弟子たちは、主に従って歩み、そして「この道に従う弟子」となるのです。その人は、主の後ろを歩み、定住はしません。いつも歩んでいます。道中で、その人は人々に出会い、病者を癒し、村や都市を訪ねます。これこそ主がなさったことです。主はいつも歩み続けておられるのです。

ですから、「この道に従う弟子」、すなわちわたしたちキリスト者は、自分たちの考え方や行動が少しずつ変わり、主の考え方や行動にますます一致するようになるのです。キリストの足跡をたどって歩き、弟子は道を歩く者になり、——善いサマリア人のように——見て憐れに思うことを学ぶのです。そして、弟子は見て憐れに思うのです。ではまず、見ること

について。彼らの目は現実に開かれており、自分自身の考えの輪の中に利己的に閉じられてはいません。それとは逆に、祭司やレビ人は、不幸な男性を見ましたが、そっぽを向いて、まるで見ていないかのように通り過ぎます。福音はわたしたちに見るように教えています——現実を正しく理解するよう導いているのです——そして、日々、思い込みや独断主義を克服するよう教えています。しかし、多くの信者たちは、現実から自分自身を守るために、独断主義の陰に逃げ込んでしまいます。次に、福音はイエスに従うことを教えています。というのもイエスに従うことは、わたしたちに憐れに思う感情を教えるからです——見て憐れに思うのです。それは他者の存在に気づくためです。特に苦しんでいる人、困っている人に気づき、善いサマリア人のように介入するのです。通り過ぎるのではなく、足を止めるのです。

この福音書のたとえを目にして、わたしたちは他者や自分自身を責めたりするかもしれませんが。他者を名指して批判したり、祭司やレビ人と比べたりするでしょう——「あの人は行ってしまふ。この人は止まらない」など。または、自分自身を責め立て、隣人に対して気を配れなかったことを数えてしまったりします。けれども、わたしはそれとは別の方法、欠点を見つけるのではない方法を勧めたいと思います。もちろん、他者に対して無関心でいて、自分自身を正当化したら、それを認めなければなりません。ただ、そこで止まらないでいましょう。これは間違いだとまず認めなければなりません。そして、主に、わたしたちの自己中心的な無関心さを克服させてくださるよう、また、主の道へ立ち帰らせてくださるようお願いしましょう。主に、見て憐れに思えるようお願いしましょう。これは恵みです。主に「あなたがわたしをご覧になり、憐れに思ってくださいるように、私も見て、憐れに思えますように」と願う必要があります。これが、今日皆さんにお教えしたい祈りです。「主よ、あなたがわたしをご覧になり、憐れに思ってくださいるように、私も見て、憐れに思えますように」——そうして、道を歩む中で出会う人々、特に、苦しみ、困っている人々に思いやりを持ち、近づき、わたしたちができる助けの手を差し伸べることができるでしょう。霊的なことを話す何人かの信者さんといるとき、よくわたしは、施し物をしましたかと聞きます。「はい」とその人は答えます。

「では、お金を施したその人の手を触りましたか？」

「いいえ、いいえ、そこに投げ入れてきました」

「ではその人の目をみましたか？」

「いいえ、そんなことは思いもしませんでした」

現実に触れることなく、困っている人の目を見ることなく施しをするなら、その施しはあなた自身のためで、その困っている人のためではありません。こう考えてみてください。わたしは、助けようとしている困窮している人に触れるだろうか？助けようとする苦しんでいる人の目を見るだろうか？「見て憐れに思う」という今日のことばを皆さんに考え続けていただきたいと思います。

成長の旅路に、おとめマリアが同伴してくださいますように。イエスという「道を示してください」おとめマリアが、わたしたちがますます「この道を行く弟子」となれるよう助けてくださいますように。

(カトリック中央協議会 HP より掲載)



主日ミサ 該当ブロック表



日	時間	場所	該当ブロック
8月 7日(日)	10:30~	聖堂	西ブロック
		講堂	山城・峡南ブロック
8月14日(日)	10:30~	聖堂	東・南ブロック
		講堂	中央・北ブロック
8月21日(日)	10:30~	聖堂	山城・峡南ブロック
		講堂	西ブロック
8月28日(日)	10:30~	聖堂	中央・北ブロック
		講堂	東・南ブロック



今月の教会カレンダー（典礼暦・外国語ミサ・行事等）



8月 5日(金) 初金ミサ	9:30 ~ ミサ	
7日(日) 年間第19主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック)	
	14:00 ~ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)	
14日(日) 年間第20主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック)	
	15:00 ~ ポルトガル語 (Português)	
15日(月) 聖母の被昇天	10:30 ~ ミサ	
21日(日) 年間第21主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック)	
	12:30 ~ 韓国語ミサ (한글)	
28日(日) 年間第22主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック)	
	14:00 ~ 英語ミサ (English)	
9月 2日(金) 初金ミサ	9:30 ~ ミサ	
4日(日) 年間第23主日	10:30 ~ ミサ (該当ブロック)	
	14:00 ~ ベトナム語ミサ (tiếng Việt)	